



萬世大路福島側関係団体との交流会報告

令和5年8月27日(日)に第5回目となる萬世大路交流会を行う事が出来ました。思えば、平成30年8月24日に福島市を会場に江戸時代の街道と萬世大路への変遷についての学習と、福島市内の街道の様子と福島河岸などの視察が

第1回萬世大路交流会の始まりでした。

翌、令和元年8月24日
（令和は5月1日から。）
に第2回を米



員にもご案内したところ、2名の方に
参加して頂きました。

昼食会後には、万世大路研究会の阿部公一代表から本人が自費刊行した「会津三方道路」冊子を当保存会へ寄贈がありました。原稿作製に当つて奥様と現地踏査した際に、大峙福島側でやぶに入り、一步も進めなくなつたエピソード紹介がありました。

その後に、当会の金子氏より明治期の山形県内土木工事に大きく寄与された高木秀明（たかぎ ひであきら）の経歴と、統一山形県出仕の明治9年9月から刈安新道のルート決定までの同12月御用納めまでの公務日記及び関連資料を紹介説明しました。高木秀明氏は後に福島県の第一にて果てることとなりました。

沢側の萬世大路と関係史跡を巡って、米沢駅前で情報交換と懇親会を行いました。第3回は庭坂の三島福島県令官邸宅周辺の史跡を視察し、湯町をつくり上げた構想に驚きました。第4回は米沢会場で準備していましたが、新型コロナの爆発的な感染拡大により中止となってしまいました。

去年は新型コロナも2類から5類となり、マスク着用も個人の判断になつたことから、第5回萬世大路交流会の米沢開催の準備に入りました。福島市

去年は新型コロナも2類から5類となり、マスク着用も個人の判断になつたことから、第5回萬世大路交流会の米沢開催の準備に入りました。福島市吾妻地区郷土史談会からは、新型コロナの影響は少なくなつたものの萬世大路の散策を控える他に短時間での会合として懇親会は控えましようとの提案がありました。当日は、米沢市議会議

米沢市 萬世大路栗子隧道
“明治・昭和の杭口遺跡”



圖 1 位置圖

| 写真1 黒子隧道 | 図1 位置図 |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 【事業経緯】黒子山隧道幅3間、高2間、長482m(876.3m) | |
| 明治9年10月14日 | 高木秀吉・伊藤左千蔵の西田大蔵鉄道頭百に入る |
| 明治9年10月28日 | 足利秀明が酒屋脇をかまわないと指摘して下山 |
| 明治9年10月30日 | 三井物産の新潟支社は黒子隧道をなしとして伊勢佐木に柵とその説明書を提出 |
| 明治9年10月31日 | 山形県県境が二ヶ所に分れて第7回河口直 福島県山形市側の新潟方面 |
| 明治9年11月 | |
| 明治9年11月4日 | 元三井物産の新潟方面と100km以下車両を限 |

【栗子隧道の地質概要……栗子隧道工事始末記より】
栗子山の南東に栗子山隧道の位置する。この隧道は、栗子山の北側斜面を貫いて、栗子山の南側斜面へと通じる。隧道の全長は約1,500mである。

図2 流洪災害発生のモデル断面図

写真2 駐道西口手前の跡

第 35 号

令和6年3月1日発行

発行者

歴史の道 土木遺産萬世大路保存会
会長 梅津 幸保

事務局

万世コミュニティセンター
☎0238-28-5381

題字は村山道雄元山形県知事

（仮称）山形の応用地質
100景への推薦について

昨年来お付き合いをいただいている「山形応用地質研究会」から、会員になつていただけないかということで、保存会梅津会長名で会員登録をしたところ、その場で早速に研究会では（仮称）山形の応用地質100景の製作に取り組んでいるので、保存会から提案していただければ嬉しいとの案内がありました。

せつかくなので、研究会からまとめた頂いた栗子の地質と三島通庸の広報を兼ねて整理し、11月25日の研究会懇話会で代理発表をお願いしたところです。

(仮称)山形の応用地質 100景への推薦について